

第2回フォローアップ

2025年4月30日
研美社様 東京営業所 会議室
(ハイブリット開催)

再掲：研修全体の目的

- AIテクニカルスキルの習得
 - ChatGPTを中心とした各種生成AIの具体的な操作方法や、業務プロセスへの活用ノウハウを、学び、考える
- AIベーススキルの習得
 - AIとの対話や思考プロセスを身につけ、業務改善や新しい発想につなげる土台を整える
- 業務効率化と顧客満足度の向上
- AI全盛時代への準備
 - これからのAI全盛時代に向けて、AIの本質的な活用方法を経験を通じて学んでいただく
 - "AIをブラックボックスにしない"ことが重要
 - AIに使われるのではなく、AIと共に歩む組織と人財の在り方を共に考えましょう



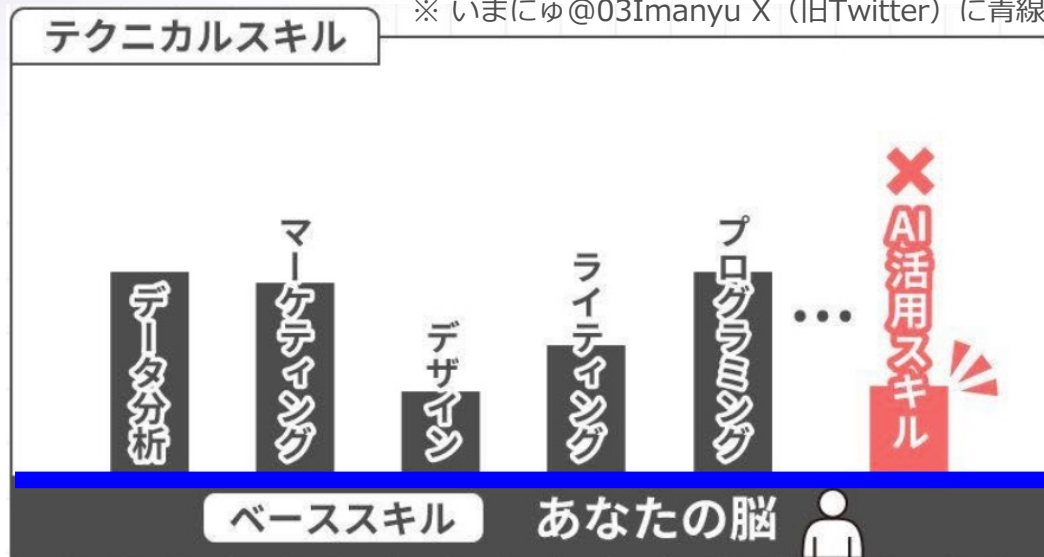
再掲：各回のテーマ

- 第1回：業務におけるDX化の基本と生成AIプロンプトの作り方、データ入力支援
- 第2回：検索AIの活用（情報収集と分析）
- 第3回：文書作成・ビジュアル表現
- 第4回：プレゼン資料作成
- 第5回：カスタムGPT活用
- 第6回：情報管理とDX計画、これからのAIについて



AIスキルについて

※ いまにゅ@03Imanyu X (旧Twitter) に青線加筆



今までの考え方

AIはベーススキル

今の子供達はAI対話が当たり前になってくる中、今の大人たちはこの状況をどう受け入れ、順応していくのか？

- ・「できるか」「できないか」ではなく、「やるか」「やらないか」

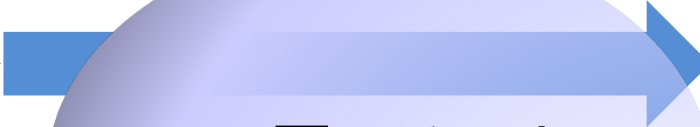
これからの考え方

AIを通じて自分の内面と対話するイメージ
＝セルフコーチング、セルフメンター



組織内の4つのAIスキル

A. AI**テクニカル**スキル (個人)



B. AI**業務適用**スキル (個人)



C. AI**組織内共有**スキル (チーム・組織)



D. AI**ベース**スキル (個人)



目に見えやすい

目に見えにくい

現時点での皆さんの4つのスキルレベルは
自己評価で何点ですか？（1…低、5…高）

リーダーにはどのスキルもバランスよく求められます。
特に組織内共有・ベーススキルは重要です。

- ✓ 差が出るのはC、D（リーダーシップ）
- ✓ メンバースキルからリーダースキルへの切り替え

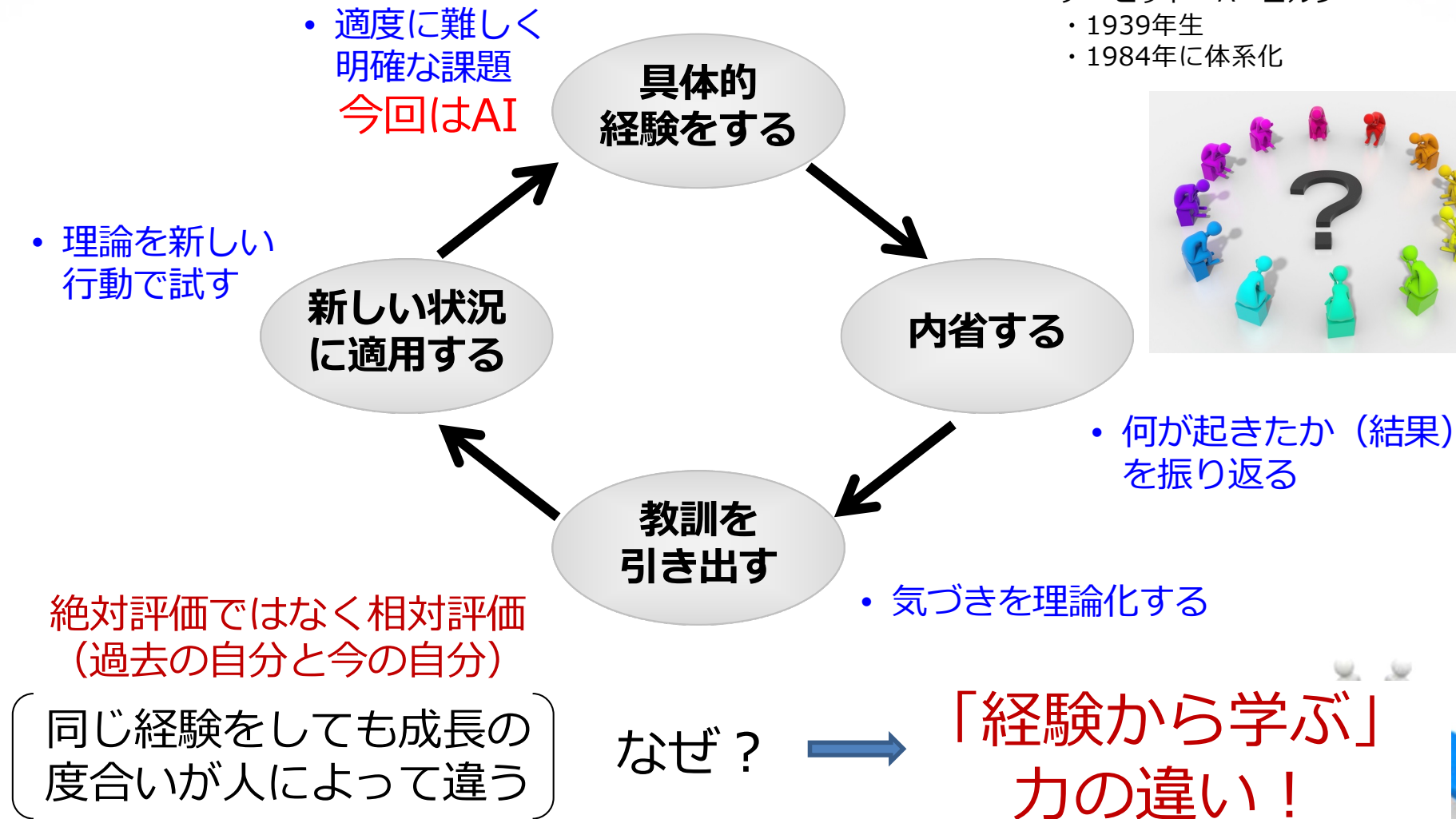


再掲：本研修の特徴《経験学習》

✓ 経験から学ぶ：コルブの経験学習理論（Theory）

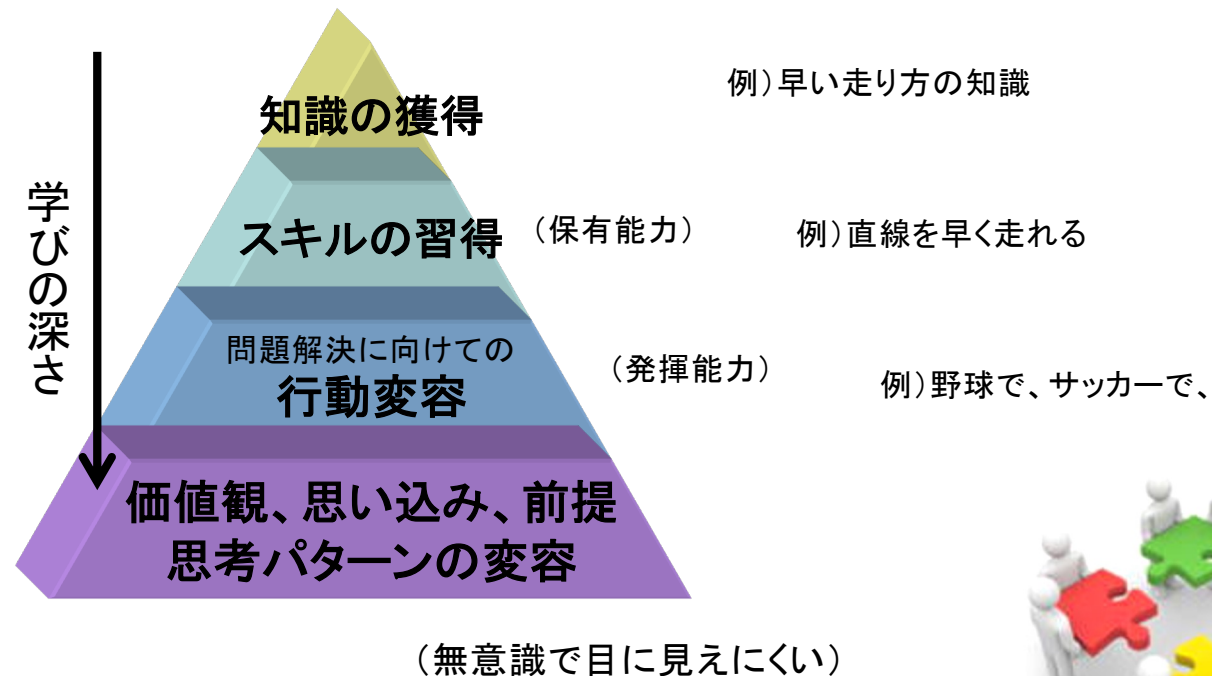
デービッド・A・コルブ

- ・ 1939年生
- ・ 1984年に体系化



再掲:『学びの質』について

- 学習（学び）とは
 - 新たな知識、スキル、行動、思考、態度、価値観を獲得したり、創出すること
 - 学びには深さがある



再掲: クリティカル思考

- Critical Thinkingの推進
 - 物事を疑い、さまざまな視点から検証するCritical Thinkingは、AIの活用が進む中で、ますます重要になる。
 - 浅い考察や狭い視野に陥ることなく、広い視野で考えを深める姿勢を育てていきたい。
- 自分が自分の思考にクリティカルに考える
- AIの回答に対してクリティカルに考える
- AIにもクリティカルに思考してもらう
- 社内への浸透
 - これらの考え方を、社内の文化として根付かせていくことが重要。
 - 全員がこれを理解し、日々の業務に取り入れることで、AIの活用と人間の力のバランスが取れた組織作りが可能になるのではないか。

GPT-4.5の行先はこれとは逆？

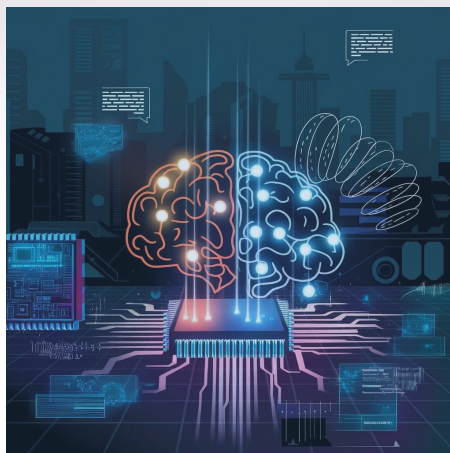


今日の内容

- オープニング
- 今後の内容
- AI最新ニュース
 - 新モデル「OpenAI o3」
 - 使ってみましょう
 - 解説
- 効率化見える化シートの作成→未実施（5/2追記）
- Q&A（全体）
- アクションプランの策定
 - 次回までの課題
- Q&A（個別）

ChatGPTのDeep Researchの制限が月10回から月25回に増えたらしいです。





以上で第2回フォローアップは
終了です。
お疲れ様でした。

事後アンケートにご回答ください